

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	進行胃癌に対する術前 GPS と予後の関係
	研究目的	GPS(Glasgow Prognostic Score)は CRP 値と Alb 値を用いた予後指標であり、GPS0:Alb 3.5 かつ CRP 1.0、GPS1:Alb<3.5 または CRP>1.0、GPS2:Alb<3.5 かつ CRP>1.0 と分類されている。GPS はさまざまな癌腫の長期予後の危険因子となることが報告されている。進行胃癌に対する切除例の術前の GPS が長期予後に与える影響を後方視的に検討する。
	研究対象者	2002 年 5 月から 2018 年 4 月まで進行胃癌に対し手術を施行した症例のうち、R2 切除、残胃癌、術前化学療法施行例を除いた 337 例を対象とする。
	研究期間	西暦 2019 年 12 月 11 日 ~ 西暦 2019 年 12 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	なし
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	なし
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし